

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	松尾恵太郎
2. 研究課題名	日本人胃がんのがん易罹患性に関する遺伝子多型の同定と、その応用を目指す研究
3. 研究の目的・方法	<p>胃がんは本邦で最も頻度の高いがんの一つである。多くの患者はヘリコバクターピロリ感染が関与すると考えられていますが、本邦の高い感染率率の中で、必ずしも全ての感染者が罹患しているわけではありません。このことは、環境要因のみならず遺伝的要因が胃がんの発生に大きく寄与することを示すものです。近年、遺伝子多型検討技術の進歩により、少量のDNAで遺伝子のほぼ全領域をカバーする遺伝子多型が高速で解析できるようになりました。この技術を適応することにより、日本人集団、或いはアジア人集団固有の胃がん罹患に関与する遺伝子を同定することが期待できます。</p> <p>本研究では、胃がん罹患リスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム遺伝子多型測定に基づく全ゲノム関連研究により系統的に発見することです。ピロリ菌感染などの環境要因を考慮することにより、胃がんの発がんメカニズムの更なる解明を行い、将来の胃がん予防・治療に対する新規の標的となる遺伝子の同定を目指します</p>
	研究期間：平成30年3月29日から平成35年3月31日 (遺伝子解析：行わない)
4. 研究の対象となる方	愛知県がんセンター中央病院を平成13年12月から平成17年11月に初めて受診し、本研究への参加に同意された方
5. 研究に用いる検体・情報の種類	<p>検体名(DNA、血清、血漿)</p> <p>診療情報内容(生活習慣や健康状態に関するアンケート、測定された血中生化学項目等のデータ、遺伝子多型性の解析結果)</p>

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
- 個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
- また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局
住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
FAX：(052-764-2963)
e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)